

国立大学図書館協会理事会
(平成20年度第3回)議事要録

日時：平成20年10月17日(金) 14:00～17:30

場所：一橋大学マースキュリータワー 多目的ホール

出席者：別紙のとおり

1. 開会

星野事務局長(東京大学・事務部長)から、文部科学省研究振興局情報課の膝館研究推進専門官、大塚大学図書館係長、国立情報学研究所の早瀬学術基盤推進部次長にご出席いただく旨、紹介があった。

2. 会長挨拶

西郷会長(東京大学・館長)による開会の挨拶が行われた。

3. 前々回及び前回議事要録の確認

西郷会長から、第55回総会及び新理事会・総括理事会(平成20年度第1・2回、20.6.26・仙台国際センター)の議事要録は既にご承認いただき国大図協ホームページに掲載済みである旨説明があり、春の理事会(平成19年度第4回、20.5.16・東京大学附属図書館)の議事要録(案)について、朗読は省略するが、会議終了までに訂正等があれば申し出ていただきたいとの依頼があった。

4. 報告事項

(1) 第55回総会について

当番地区の理事館である東北大学・北村部長から、配付資料(No.1)に基づき、総会全体に関する報告及び収支報告があり、来年度の総会運営の参考とすることとなった。

続いて、西郷会長から、総会ワークショップ報告については、企画担当館(A:北海道大学・B:名古屋大学)に議事要旨(資料No.2~3)をまとめていただいているので、お読みいただきたいとの説明があった。

(2) 各委員会等報告

1) 総務委員会

西郷総務委員会委員長の代理として東京大学・星野部長から、配布資料(No.4)に基づき、地区事業計画の審査・決定や協会のあり方等について議論した主な事項について報告があり、協会、協会等の見直しについて総務委員会で決定した事項については、後ほどご議論いただきたいとの依頼があった。

西郷委員長から、地区事業助成の見直しについて、各地区に2年間合計で30万円程度を助成し事後評価を行うことにより、時間をかけ熟慮して計画立案を行った上での事業実施が可能となり、より地区活性化に繋がるのではと考えている、次回の春季理事会にて協議したいので、それまでにご検討いただきたいとの補足説明があった。

2) 人材委員会

大西人材委員会委員長（京都大学・館長）から、配付資料（No.5-1～5）に基づき、第4回マネジメント・セミナーの開催、図書館職員の研修事業に関する調査、平成20年度国立大学図書館協会シンポジウムの開催予定（西日本：平成20年12月2日・京都大学 東日本：平成21年1月・東京大学）等について報告があった。

海外派遣事業継続についての再提案及び国大図協シンポジウムのあり方（提案）については、上記調査の結果や大学図書館関係の研修イメージ図に基づき説明があり、後ほど協議いただきたいとの依頼があった。

3) 国際学術コミュニケーション委員会

斎藤国際学術コミュニケーション委員会委員長（一橋大学・館長）から、配付資料（No.6）に基づき、委員会、及びGIFプロジェクト（日米ILL/DDプロジェクト、日韓ILL/DDプロジェクト）、SPARC/JAPANプロジェクトの活動報告があった。GIFプロジェクトではGIFガイドをリニューアルし、これまで市販していたガイドを、ホームページ上に掲載する方向で検討を進めているとの説明があった。

4) 学術情報委員会

伊藤学術情報委員会委員長（名古屋大学・館長）より、配付資料（No.7）に基づき、委員会、小委員会等の活動について報告があった。

小委員会等として新たに「合同電子ジャーナル・タスクフォース」及び「国際調査・連携小委員会」を設置した旨報告があり、「合同電子ジャーナル・タスクフォース」は、学術情報委員会委員、学術情報流通改革検討WG及び電子ジャーナル・タスクフォースのメンバーから構成され、電子ジャーナルの新たな契約モデルの構築など、学術情報流通に対する政策変更の実現に取り組む組織である、「国際調査・連携小委員会」は電子ジャーナルコンソーシアム等に関する世界各国の情勢調査及び各国担当者間の連携への模索を任務とする、との説明があった。

5) 学術情報流通改革検討ワーキンググループ

西郷主査の代理として東京大学・星野部長から、配付資料（No.8）に基づき、活動報告があった。今後の活動予定として、電子ジャーナルシンポジウムのフォローアップフォーラム（平成20年12月10日（水）13時～18時・東京大学）の開催案内があった。

(3) 平成20年度地区協会助成事業審査結果報告

西郷総務委員会委員長の代理として東京大学・星野部長から、配布資料（No.9）に基づき、地区事業計画の審査経過及び審査結果について報告があった。

(4) 各地区協会報告

特になし。

(5) 国公立大学図書館協力委員会報告

千葉大学・上原学術情報課長（国公立大学図書館協力委員会委員長館）から、配布資料（No.10）に基づき、主に以下の報告があった。

- ・平成 20 年 8 月 1 日付で、委員長が、早稲田大学・加藤図書館長から千葉大学・西村附属図書館長に交替した。
- ・学位論文電子化については、国立国会図書館と大学図書館との連絡会の下に設置された従前のWGを規模縮小して継続することとなった。
- ・SCOAP³ について懇談を行った結果、モデルの有効性、他分野への影響、各大学に負担を求める立場にない大学図書館団体としては一定金額の負担を保証しかねること、などを勧告し、関心表明を提出するのは適当でない、という意見交換が行われた。詳細は、「大学図書館協力ニュース 2008 年 9 月号」を参照していただきたい。
- ・平成 20 年度シンポジウムは「オープンアクセスをめぐる～大学図書館と研究者の対話～」をテーマに、昨年度同様、図書館総合展とタイアップして開催することとなった（平成 20 年 11 月 28 日（金）於パシフィコ横浜）。なお、当シンポジウムに対して日本図書館協会大学図書館部会から共催の申入れがあり、検討の結果、了承した。

（6）日本図書館協会関連報告

千葉大学・上原学術情報課長（日本図書館協会大学図書館部会部会長館）から、配布資料（No.11）に基づき、主に以下の報告があった。

- ・平成 20 年 8 月 1 日付国公立大学図書館協力委員会委員長の交替に伴い、同日付で部会長が、早稲田大学・加藤図書館長から千葉大学・西村附属図書館長に交替した。
- ・平成 19 年度部会総会（平成 19 年 5 月 25 日）以来、部会委員会は個人会員委員が欠員のまま機関会員委員のみにより運営されていたが、臨時部会総会（平成 20 年 8 月 29 日）にて個人会員委員を選挙し、決定した。
- ・大学図書館研究集会の開催について、新たに組織された部会委員会（平成 20 年 9 月 17 日）で検討した結果、これに替えて、平成 20 年度国公立大学図書館協力委員会シンポジウムに対し共催を申入れることとなり、申入れが了承された。

（7）その他

特になし。

5. 協議事項

（1）地区割りと理事数の変更について

西郷総務委員会委員長の代理として東京大学・星野部長から、配布資料（No.12）に基づき、地区割り、理事数の変更及び理事の担当制について提案があった。理事数の提案は、大規模だけでなく中小規模の図書館からも理事を選出していただきたいという趣旨によるものであり、地区の会員数をもとにしているとの説明があった。

協議の結果、中小規模館の意見を協会運営により反映させることを趣旨とし選出方法は地区に委ねることとして、理事数を北海道、東北地区も含め、各地区 2 館、計 16 館に修正した上で、提案が了承された。

(2) 監事選出方法について

西郷総務委員会委員長の代理として東京大学・星野部長から、配布資料(No.13)に基づき監事選出方法について提案があり、監事という業務の性格上、連続再任を避けることが望ましいとの趣旨である旨、説明があった。

提案を受け、監事選出地区会員の中から監事をどのように選出するのか、会員館全体で決めるのか、あるいは選出地区内で決めるのかとの質問があり、星野部長から選出地区内で選出する、との説明があった。

協議の結果、提案通り了承された。

西郷会長から、地区割りと理事数変更及び監事選出方法について、事務局から近日中に会則改正案を送付するので、各地区で改めて運用方法も含め検討いただくとともに、理事・監事選出方法に関する地区の内規を作成し、検討結果とあわせて今年中に事務局にご送付いただきたいとの依頼があった。また、今後のスケジュールとして、地区の意見をふまえた提案を理事会(メール等の文書会議)でご了承いただいた後、臨時総会(郵送あるいはメール文書会議)に諮り、了承が得られたら平成21年から実施したいとの説明があった。

(3) 総会等の日程について

西郷総務委員会委員長の代理として東京大学・星野部長から、配布資料(No.14)に基づき、総会等の日程について提案があった。

協議の結果、マネジメント・セミナーは総会翌日に実施し従前通り人材委員会が担当する、またマネジメント・セミナーと並行して実施する館長会議については「館長フォーラム」と名称を改め、企画担当はローテーションとする、とした上で了承された。西郷会長から次回総会当番館の新潟大学に本提案日程に基づく総会運営について依頼があり、「館長フォーラム」の企画担当については、総会当番地区等の負担を勘案した上で決定したいとの発言があった。

(4) 国立大学図書館協会預金の運用について

事務局(東京大学・栃谷総務課長)から、配付資料(No.15)に基づき、協会財産の運用について、預金の最少残高規模と緊急支出の可能性から勘案して、定期預金への預入は難しいとの説明があり、了承された。

(5) 海外派遣事業の継続及びあり方について

石井人材育成事業グループ主査(広島大学・副館長)から、配布資料(No.5-3, 5-4)に基づき、「図書館職員の研修事業に関する調査」の結果概要説明及び海外派遣事業継続についての再提案があった。また、財源確保方策を検討する際の参考として、国大図協と同様の海外派遣事業を実施している私立大学図書館協会の「国際図書館協力基金」の紹介があった。

協議の結果、財源等に関する検討を継続することとし、(1)長期派遣については、来年

度は休止する (2)短期派遣については、来年度は経常経費等も含めてやり繰りをした上で、2～3名程度を派遣することが了承された。また、これに伴い、海外派遣事業実施要綱等関連規則の改正が必要であることが確認された。

(6) 国大図協シンポジウムのあり方について

石井人材育成事業グループ主査(広島大学・副館長)から、配付資料(No.5-5)に基づき、国大図協シンポジウムのあり方について、これまでの経緯の説明及び「図書館職員の研修事業に関する調査」結果に基づく提案があり、了承された。

関連して西郷会長から以下の依頼があった。

- ・様々な団体が実施している研修・シンポジウムそれぞれのミッションを明確にしてほしい。
- ・地区協会が実施するシンポジウムについては、各地区にお任せしたい。
- ・協会主催のシンポジウムについては、人材育成以外のテーマ(財政・経営等)のものも含めて、人材委員会に全般的なコントロールを行ってほしい。他の委員会・WGがシンポジウムを実施する際には、それぞれを有機的に結びつけるために、人材委員会と緊密な連絡をとりバランスに配慮して実施してほしい。

(7) 関係団体への役員派遣について

事務局(東京大学・栃谷総務課長)から、関係団体の派遣役員について、配付資料(No.16)に基づき、以下の説明及び提案があった。

- ・国公立大学図書館協力委員会の常任幹事館(関東圏)が日本図書館協会大学図書館部会委員となっていることから、結果的に、千葉大学が3年に1度、国公立大学図書館協力委員会委員長及び日本図書館協会大学図書館部会長を担当することとなり、負担が過大になっている。
- ・1大学への負担集中を避けるためにも、上記役員について、今後はより広い範囲でローテーションとしたい。具体的には国公立大学図書館協力委員会の常任幹事館を、東京、関東甲信越地区の2地区4理事が持ちまわりで担当する。

協議の結果、事務局提案が了承された。また、西郷会長から、他の役員については在京大学を中心に調整させていただきたい旨、説明があった。

6. その他

特になし。

7. 閉会

国立大学図書館協会
理事会(平成20年度第3回)出席者

平成20年10月17日(金)

14:00~17:00

一橋大学マキリ-7F

多目的ホール

北海道大学	館長 事務部長	逸見勝亮 五十嵐哲郎
東北大学	副館長 事務部長 総務課長	倉本義夫 北村明久 加藤信哉
筑波大学	館長 副館長 情報管理課長 情報サービス課長	植松貞夫 田中成直 関川雅彦 高橋努
東京大学	館長 事務部長 総務課長 情報管理課長 情報サービス課長 教養学部等図書課長	西郷和彦 星野雅英 栃谷泰文 木村優 藏野由美子 市村櫻子
一橋大学	館長 学術・図書部長 学術情報課長	斎藤修 大場高志 長友良維
新潟大学	館長 学術情報部長 学術情報サービス課長	矢田俊文 友光健二 高島学
名古屋大学	館長 事務部長 情報管理課長	伊藤義人 川瀬正幸 井上修

京都大学	館 長 事務部長 総務課長 情報サービス課長	大西 有三 長坂 みどり 三原 英夫 西山 常清
------	---------------------------------	-----------------------------------

大阪大学	館 長 事務部長 図書館企画課長 吹田地区図書館サービス課長	小泉 潤二 細戸 康治 片山 俊治 小川 晋平
------	---	----------------------------------

広島大学	館 長 副図書館長 図書学術情報企画グループリーダー	田中 久男 石井 道悦 白木 俊男
------	----------------------------------	-------------------------

九州大学	事務部長 図書館企画課長	濱崎 修一 益 森 治巳
------	-----------------	-----------------

(監事館)

千葉大学	館 長 情報部長 学術情報課長	西村 靖敬 渡辺 博 上原 正隆
------	-----------------------	------------------------

神戸大学	館 長 事務部長	武田 廣章 棚橋 章
------	-------------	---------------

(オブザーバ)

文部科学省研究振興局 情報課学術基盤整備室	情報研究推進専門官 大学図書館係長	膝館 俊広 大塚 克威
--------------------------	----------------------	----------------

国立情報学研究所 学術基盤推進部	次 長	早瀬 均
---------------------	-----	------